

令和3年度 中学校「学習指導・評価計画表」 教科【音楽】学年【2年】担当者 平井 亜季

知：知識・技能
思：思考・判断・表現
態：主体的に学習に取り組む態度

月	単 題 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
4 月	『パートの役割を理解し、思いを歌声にのせて合唱しよう』	「翼をください」 「My Voice!」 「深めよう音楽」	知	・「翼をください」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で「翼をください」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・「翼をください」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、強弱記号や和音の重なりについて意識している。 ・創意工夫を生かした表現で「翼をください」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、各パートの和音の重なりを歌唱で表している。	実技テスト ワークシート 机間巡視
			思	・「翼をください」の旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「翼をください」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	・「翼をください」の旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「翼をください」の混声三部合唱にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	
			態	・「翼をください」の歌詞や曲想に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・「翼をください」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
	『曲想と音楽の構造との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう』	リコーダー Lesson2・3 「エーデルワイス」 「千の風になって」	知	・「エーデルワイス」、「千の風になって」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	・「エーデルワイス」、「千の風になって」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、高音と低音の奏法の違いを意識している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、より豊かな音色を器楽で表している。	
			思	・「エーデルワイス」、「千の風になって」の音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「エーデルワイス」、「千の風になって」にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	・「エーデルワイス」、「千の風になって」の音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて理解を深め、「エーデルワイス」、「千の風になって」にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	

			態	・リコーダーの音色や奏法と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	・リコーダーの音色や奏法と全体の響きとの関わりに関心をもち、奏法の違いや音色の変化を感じながら音楽活動を楽しみ、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
6月	『旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう』	「フーガ短調」	知	・「フーガ短調」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	・「フーガ短調」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、楽曲の形式や楽器の音色の変化を捉えている。	定期テスト ワークシート 感想・交流 机間巡視
			思	・「フーガ短調」の音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・「フーガ短調」の音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、意見交流をすることで音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
			態	・「フーガ短調」の曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・「フーガ短調」の曲想と音楽の構造との関わりやパイプオルガンの音色に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	『曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう』	「夏の思い出」「荒城の月」	知	・「夏の思い出」「荒城の月」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景とのかかわりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で「夏の思い出」「荒城の月」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・「夏の思い出」「荒城の月」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景とのかかわりや作詞・作曲者の意図を理解している。 ・楽譜から表現に必要な要素を読み取り、創意工夫を生かした表現で「夏の思い出」「荒城の月」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	実技テスト 定期テスト ワークシート 意見交流 机間巡視
			思	・「夏の思い出」「荒城の月」の音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「夏の思い出」「荒城の月」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	・「夏の思い出」「荒城の月」の音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「夏の思い出」「荒城の月」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて根拠を持って考え、思いや意図をもっている。	
			態	・「夏の思い出」「荒城の月」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌習活動に取り組もうとしている。	・「夏の思い出」「荒城の月」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、意見交流やパート練習を通して、主体的・協働的に歌習活動に取り組もうとしている。	

6月 7月 8月	『言葉の抑揚を生かして、旋律を創作しよう』	「My Melody」	知	・音階や言葉、音のつながり方の特徴について表したいイメージを関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について表したいイメージと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどを判断し、表現する技能を身に付け、創作で表している。	ワークシート 発表 振返りシート 机間巡視
			思	・リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	・リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて根拠を持って考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	
			態	・リズム、旋律を工夫することによって生み出される雰囲気や表情などの変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	・リズム、旋律を工夫することによって生み出される雰囲気や表情などの変化に関心をもち、意見交流やグループ学習を行う中で、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	
	『曲想と曲の構成を感じ取って歌唱表現を工夫し、合唱を創り上げよう』	「夏の日の贈りもの」「深めよう音楽旋律の動きとフレーズ」「メッセージ」「時の旅人」「指揮をしてみよう！」	知	・「夏の日の贈りもの」、「メッセージ」、「時の旅人」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で「時の旅人」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付けて、歌唱で表している。	・「夏の日の贈りもの」、「メッセージ」、「時の旅人」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて音楽の要素を含め、理解している。 ・創意工夫を生かした表現で「時の旅人」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、混声三部合唱の響きを感じながら歌唱で表している。	実技テスト 指揮の表現や 拍の取り方 ワークシート 振返りシート 机間巡視
			思	・「夏の日の贈りもの」、「メッセージ」、「時の旅人」の音色、リズム、速度、旋律、テンション、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、「時の旅人」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	・「夏の日の贈りもの」、「メッセージ」、「時の旅人」の音色、リズム、速度、旋律、テンション、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「時の旅人」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて意見交流やグループ学習をする中で思いや意図をもっている。	
			態	・夏の日の贈りもの」、「メッセージ」、「時の旅人」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・夏の日の贈りもの」、「メッセージ」、「時の旅人」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、意見交流やグループ学習を行う中で、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
		「アイーダ」	知	・「アイーダ」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	・「アイーダ」の曲想と音楽の構造との関わりや、オペラの歴史や物語、舞台などについて理解している。	

4月 5月	『オペラに親しみ、その魅力を味わおう』		思	・「アイーダ」の音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて、また、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、「アイーダ」の音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・「アイーダ」の音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて、また、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、歌と舞踊、演技などオペラの持つ魅力について味わいながら聴いている。	定期テストワークシート 提出物 発表・交流 机間巡視
			態	・「オペラ」の特徴や「アイーダ」の曲想と音楽に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・「オペラ」の特徴や「アイーダ」の曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	『長唄の歌唱や鑑賞をと おして、歌舞伎音楽のよさや美しさを味わおう』	歌舞伎「勧進帳」、 長唄「勧進帳」	知	・長唄「勧進帳」の声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・歌舞伎「勧進帳」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ・長唄「勧進帳」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・長唄「勧進帳」の声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりや、歌舞伎の音楽・舞踊・演技の総合芸術について理解している。 ・歌舞伎「勧進帳」の唄い方や発声方法のもつ特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で長唄「勧進帳」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	定期テストワークシート 提出物 発表・交流 机間巡視
			思	・長唄「勧進帳」の音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、長唄「勧進帳」にふさわしい歌唱表現をどのように表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏に対する評価とその根拠を考え、歌舞伎「勧進帳」のよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・長唄「勧進帳」の音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、長唄「勧進帳」の唄いを聴き、特徴を捉えて、ふさわしい歌唱表現をどのように表すかについて思いや意図をもち、曲や演奏に対する評価とその根拠を考え、歌舞伎「勧進帳」のよさや美しさを味わって聴いている。	
			態	・歌舞伎「勧進帳」の内容や長唄「勧進帳」の音色、リズム、速度、旋律が生み出す味わいに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・歌舞伎「勧進帳」の内容や長唄「勧進帳」の音色、リズム、速度、旋律が生み出す味わいに関心を持ち、意見交流やグループ学習を通して、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
		「交響曲第5番 ハ短調」「指揮をしてみよう！」	知	・「交響曲第5番 ハ短調」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・「交響曲第5番 ハ短調」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	・「交響曲第5番 ハ短調」の曲想と音楽の構造との関わりについて音楽的な要素を含めて理解している。 ・「交響曲第5番 ハ短調」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり、作曲者の思いや意図について理解している。	

8月	『曲想と音楽の構造との関わりを理解して、交響曲の魅力を味わおう』	思	・「交響曲第5番 ハ短調」の音色, 旋律, テクスチャ, 形式を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに, 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・「交響曲第5番 ハ短調」の音色, 旋律, テクスチャ, 形式を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに, 曲の形式やオーケストラの演奏に対する評価とその根拠について考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	定期テスト ワークシート 指揮の表現と 拍の取り方 意見交流 提出物 机間巡視
		態	・「交響曲第5番 ハ短調」の曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・「交響曲第5番 ハ短調」の曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち, 意見交流やグループ学習を通して、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	